



# 会報 けやき会 2021

埼玉大学教養学部同窓会だより Vol.19

WEBを活用したオンラインセミナー“さきたま塾”就活ゼミが発展、けやき会の新しい活動が始まりました！

新型コロナウイルス禍で様々な制約が課される中、気軽＆手軽に誰でも参加できる「集いの場」をご紹介します。



## 卒業生と在学生在を繋ぎ 互いの成長を目指す オンラインセミナー “さきたま塾” 始動!



【**昨年の活動**】  
第一に、昨年の活動です。2012年から教養学部生の就職活動を支援する「就

初めまして。「さきたま塾」事務局の石澤と申します。現在「さきたま塾」では、教養学部生を中心に、全ての埼玉大学卒業生と在学生在へ学び&経験を提供するオンラインセミナーを実施しています。

◆活動概要  
活動の概要としては、1年間に6回ほど、オンラインの「Zoom」にて、卒業生が自身の埼玉時代や仕事についてプレゼンし、議論と考察を深めています。

◆活動内容&活動方針  
卒業生が自身の埼玉時代や仕事についてプレゼンし、議論と考察を深める。在學生は卒業生のプレゼンを自身の埼玉大学の学生生活&就職活動の参考として活かす。

◆メンバー  
・塾長 田口美一 (81年卒 社会システム/経済アナリスト)



・事務局 石澤和也、井下(設楽)咲紀、金子将也、矢戸由加里(以上は、けやき会常任理事)、河野(高須)真澄、羽賀(石澤)美樹、高木真慈(以上は同理事)など22名 (敬称略)

・会員：100名以上が参加



塾長 田口美一

# 大募集 ホームページと会報で紹介します! けやき商店街

みんな応援!! 掲載無料



新型コロナの影響で、街の人出が少なくなってしまいました。特に小売店の皆さんは、大変なご苦労をされていると思います。けやき会では、そんな頑張っている皆さんにエールを送ります。小売店を営業している卒業生の皆さん、お店の情報をお知らせください。

### 大募集! けやき商店街

埼玉大学卒業生(教養学部に限らず)が経営しているお店を紹介します。お名前、卒業年、専攻と一緒にお店の情報(お店の写真、オーナーの写真、コメント)をメールでお寄せください。

- 掲載媒体: けやき会ホームページ、けやき会会報、其他媒体
- 掲載時期: ホームページは順次、会報は来年度号
- 掲載料など費用は一切かかりません。
- お店は、構成の都合上、実店舗の紹介とします。お店の種類は問いません。

★連絡・お問い合わせ: けやき会ホームページの「お問い合わせ」から連絡してください。(「けやき商店街」とお問い合わせ冒頭に表記願います)

おいしい地酒、紹介します!

オリジナルケーキ ぜひ、召し上がれ!

お探しの一冊も 任せて!

お望みのアレンジに 仕上げます!

※同窓生経営のオンラインショップや各種業種のご紹介は、今後検討させていただきます。

### 「けやき会」ホームページを見てみよう!

同窓会の情報は、ホームページでも、『埼玉大学 けやき会』で検索できます。「さきたま塾」や「就活ゼミ」の情報や新企画「けやき商店街」もこちらでご覧いただけます。

スマホなら ←こちら

### 埼玉大学基金にご協力を!

埼玉大学の学生と本学の環境の整備・充実のために、温かいご支援をお願い申し上げます。詳細については、埼玉大学ホームページをご覧ください。

埼玉大学基金は次の3区分から構成されています。

1. 埼玉大みらい基金
2. 冠奨学金基金
3. 埼玉大学修学サポート基金

埼玉大学ホームページまたは「埼玉大学基金」で検索してください。→

編集後記: コロナ禍のなかで皆さんの頑張っている様子がうかがえてとてもうれしい限りです。「けやき商店街」の情報もお待ちしております!!

発行: 埼玉大学けやき会 (埼玉大学 文理学部文文学科・人文科、教養学部 / 大学院 文化科学研究科、人文社会科学研究科 同窓会)

会長: 岡田 道程 編集: 堀江 誠

2021年4月1日発行 (年1回発行) 埼玉大学けやき会事務局 〒338-0825 さいたま市桜区下大久保255番地 埼玉大学教育機構棟3F埼玉大学同窓会事務局内 TEL/FAX : 048-858-9218 E-mail : info@keyaikai.net

【お願い】  
最後に皆さんへのお願いです。  
さきたま塾での活動を末永く継続する為に、以下の3点のご協力をお願い申し上げます。  
①さきたま塾へ是非ご参加

【「さきたま塾」活動に寄付のお願い】  
この活動を支えるため皆さんの支援をお願いします！  
銀行名：埼玉りそな銀行 北浦和西口支店  
店番：349 科目：普通 口座番号：4534302  
名義：埼玉大学教養学部同窓会 けやき会  
(なまえ：サイタマダイガクキョウヨウガクブドウソウカイ)  
※上記口座は、「さきたま塾」と「就活ゼミ」の共同管理となっています。厳正に管理しながら後輩の為に、活用させて頂き、適時、けやき会として活動報告いたします。

活かす  
・自身の就職活動に全力で取り組む  
以上のように、皆さんの力をお借りしながら、上記のシステム(体制)を構築していきたいと思えます。

「さきたま塾」に関心がある方、参加したい方はメール連絡をお願いします。メールには ①お名前 ②所属コース&ゼミ ③卒業年次 を記載して下さい。

■連絡先  
埼玉大学 教養学部同窓会 けやき会  
さきたま塾 事務局  
石澤和也  
Email: kazuyaishizawa@gmail.com  
TEL: 090-3640-4277  
LINE ID: kazuyaishizawa



石澤 和也

(国際関係論専攻 2010年卒)  
事務局  
石澤和也

②何かご協力頂ける事があれば、以下の私の連絡先へ遠慮なくご連絡願います  
③上記の銀行口座への活動費の寄付もお願いします  
卒業生の皆様、教養学部を中心とした埼玉大生、教養学部、埼玉大学の全てにメリットがあるように活動してまいります。10年単位の末永く、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。  
さきたま塾 事務局  
石澤和也

■参加者の感想  
コロナ禍でも学びの場を与えてくれるさきたま塾  
井下(設楽)咲紀 (2011年卒業)

昨年の春、コロナ禍により新たな出会いや学びの場に出かける機会が一気に減りました。その状況を窮屈に感じていた中で知ったのが、オンラインで開催されるさきたま塾です。  
自宅にいながら世界どこからでも参加が可能で、対面では会う機会がなかったであろう登壇者のお話を聞き、議論することを通じて、世代や分野を越えた人との繋がりができつつあります。  
私にとつてのさきたま塾の一番の魅力とは、経験豊富な教養学部OB・OG、現役生の生の声を聞ける点です。特に、塾長の田口さんの話には毎回刺激を受けています。



■参加者の感想  
コロナ禍でも学びの場を与えてくれるさきたま塾  
井下(設楽)咲紀 (2011年卒業)

日本とアメリカで経済の専門家として働いた経験を持った田口さんからは、社会や経済の知識を得ることにとどまらず、「自分のキャリアとは？人生とは？」といった大きなテーマについて、毎回自身自身を振り返り、これからの行動を考え、きっかけをもらっています。  
また、製造業、マスコミ、芸術など、様々な分野で活躍するOB・OGや現役生の話を聞くことで、日々のニュースの見方が変わるの面白さや変化です。興味の幅が広い教養学部の学生やOB・OGだからこそ、質疑応答ではほとんど話が広がり、思ってもみなかった物事の繋がりに気づくこともありまして。  
なかなか行動範囲を広げづらい今だからこそ、このオンラインのコミュニケーションには大きな可能性がありそうですね。今後この輪が広がっていき、事務局の一人としてサポートしていきたいと思えます。



【レポート】  
2/28さきたま塾  
2021年2月28日(日) 午前に開催のさきたま塾は「埼玉県立近代美術館(MOMAS)とわたし」・「逃げ恥スペシャル」見ましたか？あるある名言からみる日本の課題」(座談会形式)の二本立てで行われました。前半は同美術館にお勤めの喜多春月さん(埼玉大学人文社会科学研究所OG)による同館のコレクション紹介。  
WEBならではの豊富な画像を使つての丁寧でわかりやすい解説と同窓生ならではのユニークな質疑などで盛り上がりました。

←次ページ下段へ続きます。

## けやき会 総会 について (1)

2020年6月に予定しておりました「2020年度けやき会総会・講演会」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止とさせていただきます。議案書はけやき会ホームページにてご覧いただけます。(けやき会ホームページ左側の「けやき会総会」をクリック)

2021年度総会も中止の予定です。

今年度(2021年度)の総会も、新型コロナウイルス感染拡大がまだおさまりきらない状況を鑑み、中止の予定です。  
新年度の活動計画、決算・予算については、けやき会ホームページを通してお知らせいたします。  
どうぞ、ご了承くださいませ。

### 【2020年度(令和2年度)提案の活動計画】～昨年度提案、承認されたものです。

- 総会、講演会、懇親会・・・新型コロナウイルス感染防止のため中止
  - 教養学部教育研究支援金・・・10万円
  - けやき会による学生顕彰「けやき賞」(2020年度 第2回、2名、計10万円)
  - 大学寄附講座の開講  
・講師は、毎回、教養学部の卒業生が担当。社会と世界を知る実践的な講義
  - 就職支援活動としての埼玉大生のための「就活ゼミ」  
・在学生、特に4年生のための同窓生による就職支援活動。
  - 「さきたま塾」オンライン講座の開設(2020年2月より)
  - けやき会「ホームページ」による様々な情報発信
  - 会報「けやき会」の発行
  - 新入生用「けやき会パンフレット」の作成  
・新入生ガイダンスができなかったため、自宅に郵送。
  - 新入生会員の会費納入によるけやき会の財政基盤の安定化  
・生涯会費：30,000円(5学部同窓会とも共通)
  - 同期会、専攻別・地域別同窓会への支援
  - 常任理事会(9月、12月、2月、4月、オンラインで予定)
- その他、埼玉大学同窓会(全学部)の活動として
- 埼玉大学ホームカミングデー(HCD)・・・コロナのため中止
  - 2020年度埼玉大学同窓会代議員総会
  - 埼玉大学同窓会理事会(2ヶ月に1回の割合で開催)  
・5学部同窓会の会長、副会長が集まり、埼玉大学同窓会の重要案件について審議  
・・・コロナのため、目下休止中

### 【2020年度(令和2年度)けやき会役員】～昨年度提案、承認されたものです。

会長	岡田道程(76哲思)		
副会長	石田義明(75国関)	吉野 晃(80文人)	萬年拓郎(85国関)
常任理事	関根増男(69文人) 飯沼麻儀(85現社) 石原 裕(95国関) 金子将也(14哲学歴史)	飯塚 好(73文人) 稲葉雅美(92哲思) 石澤和也(10国関論) 穴戸由加里(18国関論)	堀江 誠(81哲思) 平野友紀(94現社) 井下(設楽)咲紀(11国関論) 榎木 誠(70中文) ※榎木は全学同窓会会長
理事	山野清二郎(65国文) 井出 博(71国関) 田口美一(81シス) 中嶋広国(91シス)	林野 宏(65地理) 足立 創(76歴史) 中山(高橋)君江(88地理) 羽賀(石澤)美樹(13国関論)	赤津光一(70独文) 河野(高須)真澄(78歴史) 島田 満(90現社) 高木真慈(18ヨ・ア文化)
監事	酒井憲太郎(70日文) 武井 尚(70日文)		

入学試験の業務でお忙しい3月初旬、教養学部長の野中先生にこのコロナ禍での大学の様子をお尋ねしました。

**■遠隔授業について**  
2020年度、前期は全てオンライン（遠隔授業）となりました。また後期はいくつかの授業で対面式の授業も行いましたが、多くはオンライン授業でした。

**■試験**  
前期は全て、レポート提出。後期は試験を導入したのも一部ありました。レポートの内容がいつもより良かったというのが先生方の感想！自宅で過ごす時間が多くあったからでしょうか？

**■学生はPC？スマホでも？**  
多くの学生はPCを用意し、授業を受けていた様子

2021年度、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この1年間、高校生として大変不安な毎日をご過ごされたかと思えます。

2020年度は、4月に発令された緊急事態宣言以降、学校教育も例外なくコロナ対策に忙殺されました。大学でも事情は同じで、対面式の授業に代わり、オンライン、ズーム、オンライ

また、卒業された皆さまも、コロナ禍での社会生活やテレワーク等、困難なことがたくさんあったかと思えます。

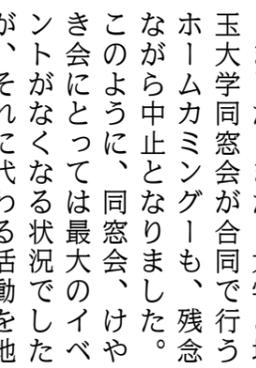


会長あいさつ  
けやき会会長 岡田 道程

また、卒業された皆さまも、コロナ禍での社会生活やテレワーク等、困難なことがたくさんあったかと思えます。

2020年度は、4月に発令された緊急事態宣言以降、学校教育も例外なくコロナ対策に忙殺されました。大学でも事情は同じで、対面式の授業に代わり、オンライン、ズーム、オンライ

また、卒業された皆さまも、コロナ禍での社会生活やテレワーク等、困難なことがたくさんあったかと思えます。



マスク忘れた学生には事務室で配布  
(学内の貼り紙)

同窓会の活動については、すでに学部長の野中先生がご紹介くださった通りです。まず、例年のような総会、講演会、懇親会が中止になりました。また、大学と埼玉大学同窓会が合同で行うホームカミングも、残念ながら中止となりました。このように、同窓会、けやき会にとっては最大のイベントがなくなる状況でしたが、それに代わる活動を地道に続けてまいりました。

一例を申し上げます。埼玉大学教養学部への支援活動です。2019年度に続き、第2回目の「けやき賞」を埼玉大学大学院人文社会科学研究所博士前期課程の優秀な2人の研究者、笠原万理子さん、吉田優希さんに授与できたことは、幸いです。

また、埼玉大生のための「就活ゼミ」（高木眞慈代表）では、コロナ禍で学生の就職活動が大変な中、オンラインを通じて社会人となっ

た卒業生が、在学生を指導する形で、今までにない実績をあげました。

さらに、昨年2月、新たに立ち上げた「さきたま塾」（田口美一塾長、石澤和也事務局長）では、オンライン形式で、卒業生なら誰でも視聴できる講座を作り出しました。今後は、同窓生のための公開講座のような形で展開し、同窓生が自宅で居ながらにして参加できるような仕組みにしていきたいと思っております。

なお、これらけやき会独自の活動である「就活ゼミ」「さきたま塾」については、埼玉大学の学長、副学長からも高く評価していただいていることも、付け加えさせていただきます。

ついにながら、このような新しい試みを実践するために、20代、30代の若い同窓生、計6名にも常任理事と理事に入ってもらいました。同窓会を活性化するためです。

今年も、少なくとも夏前までは、この状況が続くことが予想されます。従って、6月の総会を中止し、代わりにHP上での議案提案とそれに対するご承認をお願い

です。ただし一部にはスマホで頑張っている学生もいます。画面が小さいデメリットがあっても、要は授業を受ける姿勢が大事ですね。

**■学生への金銭面などのフォロー**  
全学で「埼玉大学緊急支援奨学金」を設立、家計が急変して生活が困窮した学生に奨学金を支給しました。また文科省の後押しもあり、自宅のインターネット環境整備のためのルーターの貸与なども行なったそうです。※けやき会からも全学同窓会を通じ、在学生への支援金を大学へお送りしました（約30万円）。

**■図書館**  
春の緊急事態宣言時は一時閉館したものの、研究活動には必須ということで開館。ただし会話スペースを閉鎖したり、時間制限したり感染予防の工夫のなかでの利用とのことでした。

**■学生生活**  
入学時のオリエンテーションはオンライン、入学式は中止。そのため、入学したものの一度も大学に來ないで1年間過ごした学生もいたようです。

毎年、9月に行っていた保護者会、例年は100人くらいが出席していたが、今年はオンラインで実施。

オンラインの参加しやすさもあり、例年以上の参加数、かえってオンラインのほうが参加しやすいという声も多く聞かれました。

保護者会の内容は①教員から授業などについて②職員から大学のコロナ対策取り組みなど③OBから就活の話などで約2時間、どの話も好評だったそうです。

ちなみに保護者会を行っているのはが学内では教養学部のみとのこと。

**■留学生**  
アルバイトなど収入面でも苦労しているが、何よりも日本人学生と交流する機会がとれないのがつらかったです。

**■卒業式**  
オンラインで実施、けやき会会長もオンラインでのお祝いのご挨拶となります。

**■来年度の見通し**  
新年度は、基本的に対面授業とするそうです。ただし、従来の詰めての着席はできず、離れての着席となる

いしなればなりません。

毎年、10月開催のホームカミングデーは、今後の決定になります。幸い、2月中旬から医療従事者を中心に、ワクチンの先行接種が始まりました。順調にいけば、高齢者、基礎疾患を持つ人、一般の国民の順に、今後はワクチン接種が実施されるはず。夏以降、大きく状況は変化する可能性があります。

けやき会としましても、慎重に状況を見極めながら、出来る範囲で今年も積極的に活動して参りたいと思っております。皆さまの温かいご理解とご支援を切に願います。



いしなればなりません。

毎年、10月開催のホームカミングデーは、今後の決定になります。幸い、2月中旬から医療従事者を中心に、ワクチンの先行接種が始まりました。順調にいけば、高齢者、基礎疾患を持つ人、一般の国民の順に、今後はワクチン接種が実施されるはず。夏以降、大きく状況は変化する可能性があります。

けやき会としましても、慎重に状況を見極めながら、出来る範囲で今年も積極的に活動して参りたいと思っております。皆さまの温かいご理解とご支援を切に願います。

いしなればなりません。

毎年、10月開催のホームカミングデーは、今後の決定になります。幸い、2月中旬から医療従事者を中心に、ワクチンの先行接種が始まりました。順調にいけば、高齢者、基礎疾患を持つ人、一般の国民の順に、今後はワクチン接種が実施されるはず。夏以降、大きく状況は変化する可能性があります。

けやき会としましても、慎重に状況を見極めながら、出来る範囲で今年も積極的に活動して参りたいと思っております。皆さまの温かいご理解とご支援を切に願います。



10月開催のホームカミングデーは、今後の決定になります。幸い、2月中旬から医療従事者を中心に、ワクチンの先行接種が始まりました。順調にいけば、高齢者、基礎疾患を持つ人、一般の国民の順に、今後はワクチン接種が実施されるはず。夏以降、大きく状況は変化する可能性があります。

会報 けやき会2021 目次

さきたま塾	1
石澤 和也氏	
学部長あいさつ	4
会長あいさつ	5
同窓生から	6
中山 文宣氏	
羽賀(石澤) 美樹氏	
穴戸 由加里氏	
田沼 美知子氏	
高橋 康夫氏	
第二回けやき賞	9
笠原 万理子氏	
吉田 優希氏	
就活ゼミ	10
高木 眞慈氏	
コロナのなかの大学	12
けやき会総会	14
名簿発行のお知らせ	15
けやき商店街募集	16



入学試験の業務でお忙しい3月初旬、教養学部長の野中先生にこのコロナ禍での大学の様子をお尋ねしました。

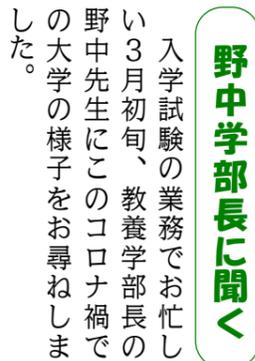
**■遠隔授業について**  
2020年度、前期は全てオンライン（遠隔授業）となりました。また後期はいくつかの授業で対面式の授業も行いましたが、多くはオンライン授業でした。

**■試験**  
前期は全て、レポート提出。後期は試験を導入したのも一部ありました。レポートの内容がいつもより良かったというのが先生方の感想！自宅

2021年度、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この1年間、高校生として大変不安な毎日をご過ごされたかと思えます。

2020年度は、4月に発令された緊急事態宣言以降、学校教育も例外なくコロナ対策に忙殺されました。大学でも事情は同じで、対面式の授業に代わり、オンライン、ズーム、オンライ

また、卒業された皆さまも、コロナ禍での社会生活やテレワーク等、困難なことがたくさんあったかと思えます。



マスク忘れた学生には事務室で配布  
(学内の貼り紙)

同窓会の活動については、すでに学部長の野中先生がご紹介くださった通りです。まず、例年のような総会、講演会、懇親会が中止になりました。また、大学と埼玉大学同窓会が合同で行うホームカミングも、残念ながら中止となりました。このように、同窓会、けやき会にとっては最大のイベントがなくなる状況でしたが、それに代わる活動を地道に続けてまいりました。

一例を申し上げます。埼玉大学教養学部への支援活動です。2019年度に続き、第2回目の「けやき賞」を埼玉大学大学院人文社会科学研究所博士前期課程の優秀な2人の研究者、笠原万理子さん、吉田優希さんに授与できたことは、幸いです。

また、埼玉大生のための「就活ゼミ」（高木眞慈代表）では、コロナ禍で学生の就職活動が大変な中、オンラインを通じて社会人となっ

た卒業生が、在学生を指導する形で、今までにない実績をあげました。

さらに、昨年2月、新たに立ち上げた「さきたま塾」（田口美一塾長、石澤和也事務局長）では、オンライン形式で、卒業生なら誰でも視聴できる講座を作り出しました。今後は、同窓生のための公開講座のような形で展開し、同窓生が自宅で居ながらにして参加できるような仕組みにしていきたいと思っております。

なお、これらけやき会独自の活動である「就活ゼミ」「さきたま塾」については、埼玉大学の学長、副学長からも高く評価していただいていることも、付け加えさせていただきます。

ついにながら、このような新しい試みを実践するために、20代、30代の若い同窓生、計6名にも常任理事と理事に入ってもらいました。同窓会を活性化するためです。

今年も、少なくとも夏前までは、この状況が続くことが予想されます。従って、6月の総会を中止し、代わりにHP上での議案提案とそれに対するご承認をお願い

です。ただし一部にはスマホで頑張っている学生もいます。画面が小さいデメリットがあっても、要は授業を受ける姿勢が大事ですね。

**■学生への金銭面などのフォロー**  
全学で「埼玉大学緊急支援奨学金」を設立、家計が急変して生活が困窮した学生に奨学金を支給しました。また文科省の後押しもあり、自宅のインターネット環境整備のためのルーターの貸与なども行なったそうです。※けやき会からも全学同窓会を通じ、在学生への支援金を大学へお送りしました（約30万円）。

**■図書館**  
春の緊急事態宣言時は一時閉館したものの、研究活動には必須ということで開館。ただし会話スペースを閉鎖したり、時間制限したり感染予防の工夫のなかでの利用とのことでした。

**■学生生活**  
入学時のオリエンテーションはオンライン、入学式は中止。そのため、入学したものの一度も大学に來ないで1年間過ごした学生もいたようです。

毎年、9月に行っていた保護者会、例年は100人くらいが出席していたが、今年はオンラインで実施。

オンラインの参加しやすさもあり、例年以上の参加数、かえってオンラインのほうが参加しやすいという声も多く聞かれました。

保護者会の内容は①教員から授業などについて②職員から大学のコロナ対策取り組みなど③OBから就活の話などで約2時間、どの話も好評だったそうです。

ちなみに保護者会を行っているのはが学内では教養学部のみとのこと。

**■留学生**  
アルバイトなど収入面でも苦労しているが、何よりも日本人学生と交流する機会がとれないのがつらかったです。

**■卒業式**  
オンラインで実施、けやき会会長もオンラインでのお祝いのご挨拶となります。

**■来年度の見通し**  
新年度は、基本的に対面授業とするそうです。ただし、従来の詰めての着席はできず、離れての着席となる

いしなればなりません。

毎年、10月開催のホームカミングデーは、今後の決定になります。幸い、2月中旬から医療従事者を中心に、ワクチンの先行接種が始まりました。順調にいけば、高齢者、基礎疾患を持つ人、一般の国民の順に、今後はワクチン接種が実施されるはず。夏以降、大きく状況は変化する可能性があります。

けやき会としましても、慎重に状況を見極めながら、出来る範囲で今年も積極的に活動して参りたいと思っております。皆さまの温かいご理解とご支援を切に願います。



■対象は全埼玉の就活ゼミの対象者は大学院生を含むすべての埼玉大学生です。昨年度は教養学部と経済学部の参加者が多数でした。

■埼玉大学OBだから相談しやすい  
運営を行っているのは埼玉大学の卒業生です。親しみやすいうえに大学の特徴や課外活動のことをよく知っているの相談しやすいです。



■相談はなんでもOK  
相談内容は進路に関わることもなんでもOKです。就職活動だけでなく海外留学、大学院進学相談も受け付けています。



新代表 高木真慈

今回の活動紹介では、就活ゼミの概要を述べたあとに、活動のイメージとコンセプトの2点から活動を紹介します。最後に昨年度の内で実績について述べさせていただきます。

志望する業界が絞れたら業界ごとに分かれ、深い選考対策をしています。業界ごとにリーダーになっていただける方を募集中です。

■活動協力の拡大を！  
今後は、より多くの卒業生に活動へ協力をしてもらい活動を広げていくことが目標です。様々な業界と職種の方に業界の知見と経験を還元していただきたいと思っています。

現在の就職活動とOBOGのみなさんが学生時代にされた就職活動は大きく異なると思います。働くことそのものについては普遍的なものがあると思います。

■ホームページ開設  
OBOGの方々との接点を作りたいと思い、工学部の学生と就活ゼミのホームページを開発し昨年秋リリースしました。是非一埼玉大学就活ゼミと検索してホームページをご覧ください。



就活ゼミホームページ

また、協力していただける方はホームページの「お問い合わせ」からメッセージをお願います。



就活ゼミのホームページはこちらからもアクセスできます。

■活動イメージ  
就活ゼミの活動イメージは「就職活動のベ이스キャン」です。就職活動の出击基地として参加者を全面的にバックアップします。あくまで自己実現の手段として就職を考えていますので、就職を押し付けることはしません。就活ゼミをどう活用するかは参加者の自主性にかかっています。

■活動のコンセプト  
活動のコンセプトは「埼玉大学の就活をアップデート」です。埼玉大学生は就職活動の情報戦において大きな遅れをとっています。採用活動の本流を見極め、自分のポテンシャルを最大



情報格差があるのは選考突破の方法だけではありません。そもそも進路の選択においても、どんな進路があるのかを知ることにもなく就職活動を迎える学生が多くいます。自由闊達な教養学部で学んだことを活かせる進路があると知れば目的が生まれ、入学当初からより一層勉学に励むことができると思います。入学時から自分の進路を

期せぬ物語です。その時に失敗と思ったことでも、後から思えばよかったことはいくらでもあります。思いもかけなかったことや出会いが、自分の人生を決めることもあり。進む道は一つではありません。自分の可能性を狭めるのはただ自分の気持ちだけ。コロナの影響が社会に深刻な影響を及ぼすなか、どうぞ前向きに自分の道を探してください。皆様が自分を信じ行動できることを祈りしています。

誰もが望む名前でも  
生きられる社会を  
〜選択的夫婦別姓〜

羽賀(石澤) 美樹  
(13年卒・国際関係論)



皆さんは「選択的夫婦別姓制度」について考えたことがありますか？夫婦が望む場合には、結婚後も夫婦がそれぞれ結婚前の氏を称することを認める制度のことです。

とです。

日本では、日本人同士が結婚する際、約96%の場合女性が改姓しています。選択的夫婦別姓制度がない国は世界で日本のみで、この制度が改姓する側にとって負担であるとされます。

制度導入の議論が始まったから既に40年が経過しました。結婚する年代では男女ともに賛成が多数、最近ではニュースでも話題になることが増えましたが、一部の反対により実現していません。

私は4年前に結婚した際、望まない改姓を経験しました。それがきっかけとなり、「選択的夫婦別姓・全国陳情アクション」という選択的夫婦別姓の法制化を目指す活動する市民団体に入り、陳情活動を始めました。

今では理解者となった夫と共に、東京近辺の議員や地元福島県の議員、そして国会議員など、50人近い議員に会い、当事者の声を届けてきました。

このような活動を通して感じるのは、最初は反対でも、選択的であることを中心に伝えたり、当事者の困りごととして伝えると賛成

に転じてくれる方が殆どだということなんです。



さいたま市議会に陳情(2021年1月)  
自民、民主改革の各議員2名と  
(筆者は左から2人目)

さいたま市議会では  
選択的夫婦別姓の法制化を求める  
意見書の提出に向け活動中

結婚はお互いの信頼や尊敬の上に成り立ちます。夫が名前を変えたくないのならば、妻の「名前を変えたくない」という気持ちも大事にされるべきです。名字で家族の絆は決まらず、個人との向き合い方で絆は深まると私は思います。同じ名前でも結婚したい人は同姓で、それぞれの名前で結婚したい人は別姓で。望まない改姓を強いられず、誰もが望む名前でも生きられる社会を実現するため、私は今後も活動を続けます。



埼玉大学で得た  
学びと経験を  
将来の世代に還元

六戸 由加里  
(18年卒・国際関係論)

私は現在、公益財団法人米日カウンシルジャパンが運営する教育プログラムTOMODACHIユニシアチブの「アラムナイ・コーディネーター」を務めています。「アラムナイ」とは「卒業生」を意味する英単語ですが、ここでは「プログラム経験者」を意味します。

プログラムとは、TOMODACHIユニシアチブが提供する若者向けの育成プログラムの総称で、2011年の創設以来、340を超えるプログラムの9千人以上の日米の若者が参加しています。私がこの仕事に携わること



TOMODACHI大和ハウス学生リーダーシップ  
会議にて日米の参加者と共に  
（本人は右から2番目）

限引き出して選考に臨めば、希望する進路を実現できたかもしれないのに、選考対策が不十分なまま選考に臨み悔しい思いをする学生が多くいます。少ない情報で空回りする学生がいる一方で、時代の流れに乗りスパートに進路を勝ち取る学生もいます。埼玉大学生も就職活動の方法が刷新されればもっといい結果が出るのに、、、と、就職活動を終えた学生と話す中でこのコンセプトが生まれました。情報格差があるのは選考突破の方法だけではありません。そもそも進路の選択においても、どんな進路があるのかを知ることにもなく就職活動を迎える学生が多くいます。自由闊達な教養学部で学んだことを活かせる進路があると知れば目的が生まれ、入学当初からより一層勉学に励むことができると思います。入学時から自分の進路を



翌年にはマサチューセッツ大学ボストン校へ1年間の交換留学に行き、現地では、米国社会の実情を身をもって体感することができました。特に、2016年の大統領選挙を通して、「世界一」の経済大国、そして多様性を重んじる国で目にしたことは、机上の学習では得られない貴重な経験となりました。